

# 海外における ソーシャル・キャピタルの 政策展開

---

東北大学大学院経済学研究科  
西出優子  
ynishide@econ.tohoku.ac.jp

第2回ソーシャル・キャピタル政策展開研究会

2007年10月31日@日本総合研究所

# 背景と目的



- 「ソーシャル・キャピタル」との出会い
- 国内外における関心の高まり
- ソーシャル・キャピタルとNPOとの関係
- ソーシャル・キャピタルを創出・活用する方法、NPOの役割、実践・政策への応用
- 海外の動向は？

# ソーシャル・キャピタル に対する政策的取り組み

世界銀行

持続可能な開発

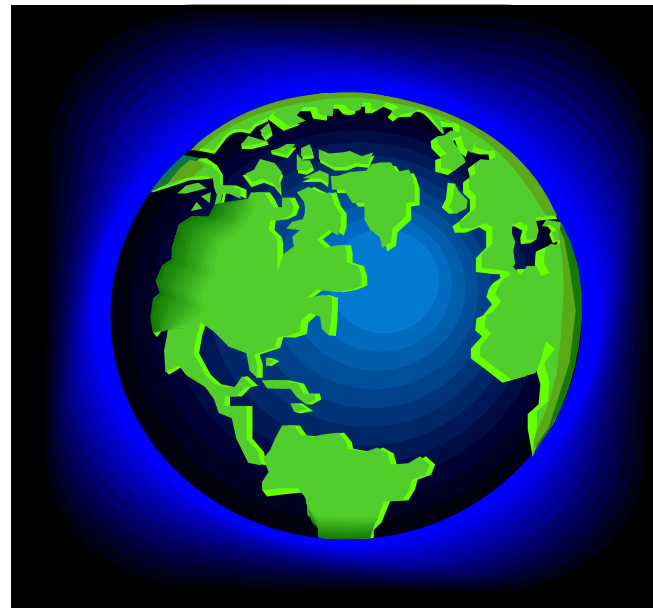
OECD

福利、人的資本、計測

国連シエナグループ

計測

ヨーロッパ:  
アイルランド  
イギリス  
イタリア  
フィンランド



アジア: 日本

北米:  
カナダ  
アメリカ

オセアニア:  
オーストラリア  
ニュージーランド

# 国際機関の取り組み: OECDの例

## 教育局研究革新センター(CERI)

- 人的資本との関係、教育政策
- OECDで最初に関心を示した

“Well-being of Nations: The Role of Human and Social Capital”

## 統計局(STD)

- 計測、比較、計測枠組みの統合、地域政策

地域レベルや地域政策におけるSCの重要性。  
財政、旗振り役に課題。

## 地域経済労働開発(LEED)

- アントレプレナーシップ、農村地域におけるNPO支援、地域レベルの影響、法的環境の整備

地域課題の取り組みにおいて、情報の共有と成功への重要な要因として、ネットワークに注目。

## 開発協力局(DAC)

- 紛争、安全保障、開発、地方分権、貧困削減、雇用・労働、ジェンダー、社会セクター、ガバナンス

開発において人と地域に焦点→開発や地域の力量形成において、ソーシャル・キャピタルの発展が重要

# 背景・認識・定義

- 背景：社会的包含、多様性、コミュニティ再生
- 認識：公共政策において非常に重要な概念
- 定義：OECD「集団内部・集団間の協力を円滑にする共通の規範、価値観・理解をともなうネットワーク」

OECDの定義を採用・準用している国	独自に定義している国	政府の正式な定義はないがパットナムの定義を使用している国
アイルランド、イギリス、オーストラリア、カナダ	ニュージーランド	アメリカ、日本

# 計測

- 定量的計測への関心→実証ベースの政策形成
- アンケート調査：アイルランド、イギリス、カナダ

政府による取組みはないが、既存調査により、測定可能な側面有り	概念化や測定上の問題から、政府が測定を保留	政府が積極的に取り組んでいる
アメリカ、ギリシャ、スイス、スペイン、ドイツ、トルコ、フランス、ベルギー	アメリカ、フランス 測定の開始	アイルランド、イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド

# 英国統計局のSC調査マトリックス

次元	測定可能な側面
社会的参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・属している文化・レジャー・社会グループの数</li> <li>・その関与の頻度と強度</li> <li>・ボランティア組織への関与</li> <li>・その関与の頻度と強度</li> <li>・宗教活動</li> </ul>
社会的なネットワークおよび社会的なサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親戚や友人、隣人とのつきあい</li> <li>・仮想的なネットワーク ・接触の頻度と強度</li> <li>・親密な友人の数、近くに住む親戚の数</li> <li>・頼るべき人</li> <li>・助けてくれる人</li> <li>・生活満足度</li> </ul>
互酬性と信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人への信頼</li> <li>・親切にしてくれる人、そうでない人</li> <li>・共有価値の認識</li> </ul>
市民参加・協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な制度への信頼</li> <li>・地方もしくは国レベルの出来事への情報アクセス</li> <li>・地域活動団体への参加及びその頻度</li> <li>・投票傾向</li> </ul>
ローカルエリアの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質的環境の概観</li> <li>・地域のファシリティ</li> <li>・その地域での生活の楽しみ</li> <li>・犯罪の恐怖</li> </ul>

# 測定の手組み・調査項目

- 信頼、ネットワーク、参加、地域に対する認識
- 合成指標：アメリカ(パットナム)、日本

国名	アメリカ	カナダ	アイルランド	イギリス	オーストラリア	ニュージーランド	日本
測定の手組み、項目	信頼、公式・非公式のネットワーク、政治的関与、市民的積極参加の平等性	社会参加、エンパワメントの度合い、コミュニティの認識、社会的ネットワーク、信頼	ボランティア、市民参加、投票、インフォーマルな社会的ネットワーク、信頼	社会的参加、市民参加、地域に対する考え、社会的なつながりと支援、信頼と互酬性	ネットワークの質、ネットワークの構造、ネットワークの取引、ネットワークの種類	行動、態度と価値観、人口グループ、組織の4つの側面に注目	信頼、ネットワーク、社会的参加



# 主導主体

研究者主導型	政府主導型	
	統計局主導型	内閣府主導型
アメリカ	イタリア、オーストラリア、 カナダ、フィンランド	日本
パットナム、サ ワーロ・セミナー 中心に政府に 働きかけ	統計局および内閣府・内務省共導型	
	イギリス、ニュージーランド	

# 調査研究

国名	アメリカ	カナダ	アイルランド	イギリス	オーストラリア	ニュージーランド	日本
主要な調査研究	<i>Bowling Alone</i> (1995, 2000); <i>Better Together</i> (2003)	Social Capital as a Public Policy Project Report (2005)	<i>The Policy Implications of Social Capital</i> (2003)	Discussion Paper (2002); <i>Social Capital</i> (2005)	Social Capital and Social Wellbeing (2002); Measuring Social Capital (2004)	Social Capital and Policy Development (1997); Building Social Capital (2002)	「ソーシャル・キャピタル」(2003)、「コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルに関する調査報告書」(2005)
SC 関連調査	Social Capital Community Benchmark Survey (2000), Current Population Survey on Volunteering (2004)	General Social Survey on Civic Engagement (2003)	NESF Survey of Social Capital in Ireland (2002)	Home Office Citizenship Survey (2001, 2003)	Measuring Social Capital in Five Communities in NSW (1997)	Time-Use Survey (2001)	「ソーシャル・キャピタル」(2003)、「コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルに関する研究調査報告書」(2005)

出所) 各種文献を基に作成

# SC関連政策

	アイルランド	イギリス	アメリカ	オーストラリア	カナダ
民主主義、市民参加、政府、政治	参加型民主主義、代表民主主義、若者を市民生活に巻き込む	アクティブ・シチズンシップ、政策形成過程におけるフォーラムの開催	参加の増大、政治資金制度の改革、政府に対する信頼		若者の市民参加
NPO、ボランティア	政府とボランティア・セクターの協働、ボランティア・セクターのイニシアチブ	ボランティアの促進 (Millenium Volunteers、Experience Corps)	NPOやボランティア団体の支援、ボランティアの促進 (AmeriCorps)	ボランティア	コミュニティづくりにおけるボランティア団体
コミュニティ、コミュニティづくり、犯罪	コミュニティと自発性の努力の促進、コミュニティ時間銀行、コミュニティ・セクターのイニシアチブ	近隣・地域のガバナンス、地域の資源に応じた福祉、地域通貨やタイムバンクなどの認証、潜在的犯罪者への取組み	コミュニティづくり	コミュニティの活性化、地域の安全・犯罪・公正	コミュニティづくり、先住民コミュニティの防犯パトロール
家族・子育て	家族に優しい政策	Sure Startプログラムなど、家族や子育てへの支援拡大	子育てへの支援	家族の社会参加に対する支援	
教育	サービス・ラーニング、生涯学習の開放化、学校、親、地域、ボランティア団体との連携	市民教育やサービス・ラーニングのさらなる促進、インフォーマルな学習グループに対する支援	市民教育、サービス・ラーニング、ボランティアの単位認定、(若者)	教育、職業訓練	先住民コミュニティにおける教育の改善・推進
雇用、企業、仕事と生活のバランス、経済、貧困	より柔軟な労働環境の整備、CSR、仕事と生活のバランス、全国反貧困計画	人的ネットワークを用いた貧困からの脱出。企業、労働者と地域間のネットワーク	労働者が柔軟に働き、地域活動のための時間を取れるようにする法律の制定	雇用	貧困削減
空間・都市計画、交通、居住	サービス、仕事、学校からの距離、公共交通機関およびカープールの推進	コミュニティ・ガーデン等、社会的住居の分散、空間計画(公園等のグレードアップ)	都市の空洞化と通勤時間の減少、通行人に優しい設計、公共空間の利用性	住居・交通・都市計画	新しい移民の居住
文化芸術		ストリート文化やカフェ文化の促進、美術館入場料の無料化	ダンスフェスティバルなど、文化活動への参加の増大	文化芸術	

出所) 各種文献を基に作成

# 英国におけるSC関連政策の提言および事例

レベル	政策	事例
個人・ミクロレベル	家族や子育てへの支援拡張	Sure Start
	メンタリング	こどもにメンターをつける、特にグループ
	潜在的な受刑者のための新しい方法	チームでボランティアをする
	ボランティア	Millennium Volunteers
コミュニティ・メゾレベル	近隣および地域のガバナンス	地域分権
	地域の資源に応じた福祉	地域の公共財の運営を地域に任す
	企業、労働者と地域間のネットワーク構築	米国:シリコン・バレー
	コミュニティの情報とITネットワーク	近所で共有のメーリング・リストを作る
	空間計画	公園や遊び場のグレードアップ
	社会的住居の分散	コミュニティ・ガーデン
	人的ネットワークを用いて貧困から脱出	企業が貧困地域の人を雇用する
マクロ・レベル	シチズンシップ教育とサービス・ラーニング	経験を通して市民の権利などを学ぶ
	コミュニティ・サービスの認証	地域通貨、タイムバンク
	現代に共有された「道徳的」対話の創出	政策形成過程におけるフォーラムの開催
	相互の尊敬の促進	陪審員制

# SC関連政策の事例

## アイルランド：休眠口座基金制度

- Dormant Accounts Fund

条件不利地域を支援するための基金

金融機関に(15年間)眠っている預金者口座2億ユーロを  
利用

→4,200万ユーロを420の事業に拠出

→不利条件の学校、地域の施設改修、公園づくり等、  
地域の活性化に利用(法律上の義務規定)

# SC関連政策の事例-アイルランド

## アクティブ・シチズンシップ

- アハーン首相スピーチ(2005)
- Taskforce on Active Citizenshipの設立(2006年4月)
  - 地域開発、ソーシャル・キャピタル、アクティブ・シチズンシップとの関係(フロー、ストック、形態)等、概念整理(2007年3月)
  - 政府に対する政策提言報告書(2007年3月)

貧困、  
経済格差、  
社会的  
排除等の  
社会的  
背景

民主主義のプロセスへの参加

公共サービスと市民

地域への関与、地域感の推進

市民教育

民族的・文化的多様性とNewcomersの関与

→政府による  
提言の受け入  
れ、提言に基づ  
く政策展開  
の模索

# SC関連政策の事例ーカナダ

## 公共政策ツールとしてのソーシャル・キャピタル

貧困削減

地域開発

若者の地域関与

地域犯罪の予防

健康長寿

新移民の定住

先住民地域における教育改善

先住民地域の防犯パトロール

先住民、移民等の  
多様性、  
社会的排除等  
の社会的背景

①社会的排除、  
②人生の転換期、  
③地域開発  
の3政策領域に  
おいて  
特に重要

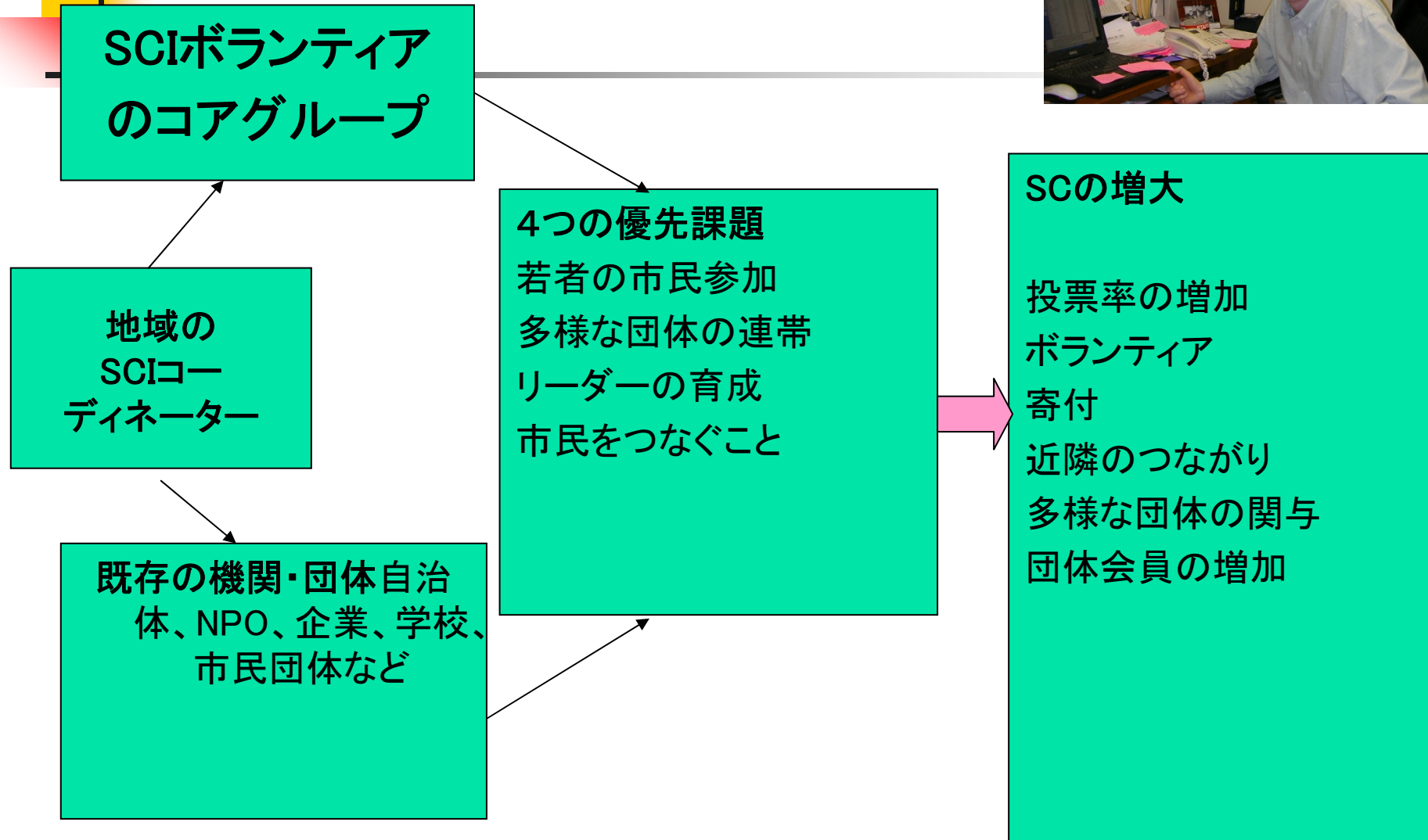


# SCの政策展開にNPO・社会的 起業が果たす役割

- 英：ソーシャル・エンタープライズ・ロンドン  
通商産業省に対し、SC創出に社会的起業が  
果たす役割を政策提言→報告書に明記
- 英：ボランティア団体全国協議会
- 米：ソーシャル・キャピタル・インク



# 米・ソーシャル・キャピタル・インク SCIモデル



# SC政策形成・政策展開 におけるNPOの役割

- 個人、組織、地域、国という、様々なレベルにおけるSCの創出・活用、アドボカシー

範囲	内容	例
個人レベル	個人のボランティアや寄付の促進、参加の機会の拡大	SCI
組織レベル	戦略計画、キャパシティ・ビルディング	NCVO
地域レベル	地域ガバナンス、コミュニティ活性化、自治体政策	SCI、The Wheel
国レベル	アドボカシー、ソーシャル・キャピタルの視点を取り入れた政策形成	The Wheel、NCVO



# SCの政策展開に研究機関・シンクタンク等が果たす役割

---

- 米：パットナム、サワーロ・セミナー  
→教育省、SCの視点を取り入れたボランティア調査
- アイルランド：国家経済社会フォーラム  
『ソーシャル・キャピタルの政策的含意』  
→各省庁に政策提言

# パットナム/サワーロ・セミナー による政策提言

教育	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校で市民教育・サービスを教える</li><li>・ 大学履修単位にボランティア活動を取り入れる</li></ul>
仕事	<ul style="list-style-type: none"><li>・ フレックス勤務を推進し、地域活動に参加者しやすい環境を整備する</li></ul>
IT	<ul style="list-style-type: none"><li>・ コミュニティ内のつながりを強くするための新しい電子エンターテインメントやコミュニケーションの強化</li></ul>
都市計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 歩行者を配慮した公共空間整備</li><li>・ 公共スペースの多様化・多目的化</li></ul>

# アイルランド国家社会経済フォーラム(NESF) が提言するSC関連政策

コミュニティづくり	コミュニティと自発性の努力の促進 参加型民主主義、代表民主主義 若者を市民生活に巻き込む 政府とボランティア・セクターの協働 ボランティア・セクターやコミュニティ主体のイニシアチブ ICT コミュニティ時間銀行
仕事と生活のバランス	家族に優しい政策 CSR 生活のバランスと精神性
生涯学習	学習支援ネットワーク 高等教育
空間計画	サービス、仕事、学校からの距離

出所: NESF(2003)より一部抜粋



# 海外における関連政策のまとめ

---

- ソーシャル・キャピタルは多岐にわたる政策領域において適用可能  
(市民参加、NPO・ボランティア、コミュニティ、家族・子育て、教育、雇用、仕事と生活のバランス、都市計画、文化芸術・スポーツ、健康福祉、IT、ジェンダー等)
- 各国の文化的社会的背景に基づいた政策展開が試みられている(例:移民、貧困、社会的排除)



# 政策的含意(1)

---

- 幅広い政策適用可能性
  - ・政府、各自治体におけるSCの位置づけ
  - ・概念の啓発・普及
- トップの役割
- 省庁間のコーディネート
- ソーシャル・キャピタルを壊さない政策
- 社会的文化的背景の考慮



## 政策的含意(2)

---

- NPO・コミュニティ政策
  - ・自発性形成のための環境整備
  - ・NPO・コミュニティに対する財政支援
  - ・町村・過疎地への留意
- セクター間の連携・協働
  - ・橋渡し型、連結型SCの醸成
  - ・協働プロセスにおけるSCの創出と活用
  - ・政策展開に向けたセクター間の対話、提言（政府だけでなく、NPO、(社会的)企業、研究機関の役割）





## 政策的含意(3)

---

- 長期的ビジョンに基づく政策形成
- 個人や組織の自発的行動を促進するインセンティブ、環境整備
- 地域レベルの取り組み
- データの整備→計測および調査研究、実態把握、実証ベースの政策形成



# 主な参考文献

---

- Halpern, David (2005) *Social Capital*, Polity Press
- 内閣府経済社会総合研究所(2005)『コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルに関する研究調査報告書』
- National Economic and Social Forum[NESF] (2003) *Policy Implications of Social Capital*, Form Report 28.
- Nishide, Yuko (2006) *Social Capital and Civil Society: For Policy and Practical Implications*, Doctoral Dissertation, Osaka School of International Public Policy, Osaka University.
- 西出優子(2005)「ソーシャルキャピタルー海外での取り組み状況」『月刊NIRA政策研究』 Vol. 18, No.6, pp.33-40.
- Policy Research Initiative (2005) *Social Capital as a Public Policy Tool*.
- Putnam, Robert D. (2000) *Bowling Alone: The Collapse and Revival of American Community*, Simon & Schuster. (柴内康文訳(2006)『孤独なボウリング: 米国コミュニティの崩壊と再生』柏書房).
- Taskforce on Active Citizenship (<http://www.activecitizen.ie>)